

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	地域まちづくり交付金事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業・団体に交付される補助金を一元化して交付する。主体的・積極的なまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保するための新たな財源と、使途について地域に裁量権を付与する。平成26年度には、交付算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費を一元化した。平成29年度には、課題解決応援加算を創設した。				
	44地域コミュニティ協議会に地域まちづくり交付金を交付 コミュニティプランを踏まえた中長期展望がある事業計画の策定へのインセンティブとなる課題解決応援加算を創設				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

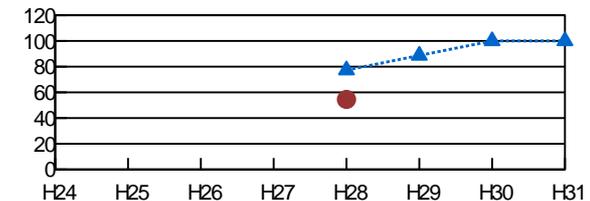
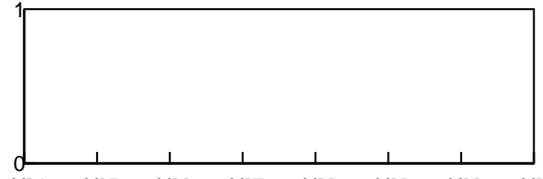
【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の44地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	一元化した交付金をコミュニティ協議会に交付することによって、コミュニティ協議会の裁量で交付金配分し、主体的に地域の課題に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
補助金交付件数	件			44	44	44

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
コミュニティプランの見直し率	%	目標値			77.3	88.7	100
		実績値			54.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、担当課による出前講座や、アドバイザーの役割を担ええる専門家紹介など、コミュニティプラン見直しの支援に努めたが、目標達成に至らなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 70.5% 24点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	298,999	301,268	298,629	322,571
（事業費）	[円]	289,404	291,288	288,423	308,439
（職員人件費）	[円]	9,595	9,980	10,206	14,132

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域まちづくり交付金は、地域コミュニティ活動における最も重要な財源である。当該交付金により、地域におけるコミュニティ活動の活性化が図られているが、当該交付金をより効果的なものとするため、適正な執行がなされているか確認する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成 29年度から創設した課題解決応援加算の運用により、地域活動の更なる活性化につなげていく。また、協働推進員制度を見直し、地域へのサポート体制を充実させる。